

# ガリレオ通信 第5号

伯耆駿英予備校 平成28年3月2日

## 【国公立試験】

国公立大学の前期試験は、2月25日・26日に行われました。発表は、3月6日以降です。

後期試験は3月12日・13日にあり、発表は3月20日以降です。

受験生の全員が、前期試験で合格できるように祈っています。

## 【新学期】

4月7日（木）から新学期が始まります。新学期の時間割を同封します。新学期に向けて、必要な受講科目を検討して下さい。何を受講したらいいかわからない人は、相談に来てください。

## 新高2生のカリキュラム

(1) 改めて確認をしておきます。

駿英予備校の「SS 授業」と「ハイレベル英語」は、東大・京大・医学科を志望する人のためのものです。そこで、全国トップレベルの勉強を実現して下さい。

(2) 英語と国語は、学校別の授業というより、学力別のクラスとして、「レベルアップ」クラスと「スタンダード」クラスに分かれます。自分にあったクラスを担当教師と相談の上、決めてください。

(3) 米子東の数学は、文系と理系に分かれます。そのため文系クラスの授業は、金曜日に変更します。米子西の数学は、2学期から分かれます。

## 新高3生のカリキュラム

(1) 授業は、大きく二つに、「センター対策授業」と「二次対策授業」に分かれます。

苦手な教科、自分の志望大学の得点比率などを考慮して、どの授業を受けるか、検討してください。よく分からない場合、進路の相談に来てください。

(2) 英語と国語は、「私大対策授業」を行います。ハイレベルとスタンダードの二つのクラスがあります。

国語は4月から。英語は7月から。

## 新しい授業

4月から2年生と3年生のための、新しい授業を創設します。(チラシで内容を確認してください)

(1) 英語 「長文読解のための基礎英文法」

(2) 国語 「再出発の古文・漢文」

(3) 理科 「再出発の化学」

## 【春期講習】

英語・数学・理科は「春期講習」を行います。

3月28日・29日・30日・4月1日・2日の5日間です。

この1年間の学習を総復習し、4月からの1年間のスタートをするために、がんばって受講してください。

特に国語と理科は、「再出発コース」を設けました。2年の授業、3年の授業が始まる前に、基礎から学びなおして、再出発を決意する人を応援するための授業です。

### \*朝日新聞デジタルの読みものを同封します。

#### (1)「数学苦手でも宇宙に行きたくて・・・JAXA岩田直子さん」の記事

岩田さんは大学受験の高3の時、「国立大学ではないと学費は出せない」と言われた上に、「もし受験に失敗したら浪人せずに働いてほしい」と言われて、受験勉強をしたそうです。

1日20時間の勉強をして、視力が1.2から0.6に。

「宇宙飛行士という自分の夢のため」に頑張って受験勉強をした。

前期の京都大学は落ち、「落ちたら働くしかない」という後がない状況で、後期の名古屋大に向けて1日20時間の勉強をして、見事、合格。

#### (2)「Maryなぜメアリー？が出発点 東大卒、選んだ禅の道」

松山さんは中学3年間、部活のバレーボール漬けで、ほとんど勉強をしなかった。中3の夏に試合がすべて終わり、アラスカに一人旅。

英語がまったく分からなかったので、夏休み明けに駿台予備校の入塾テストを受けたら、英語と数学が0点。塾すら入ることができなかったことがショックで、そこから勉強したそうです。

学校の英語の授業のエピソードが面白い。「シドニイ・シェルダンの500ページぐらいある小説をポンと渡し、定期テストごとに150ページほどずつ範囲を区切って、そこに出てくるフレーズを覚えろと。入試テクニックなんてものはありませんでした。」

さすが、中高一貫校（洛星中学・高校）は、やることがオシャレです。

## 新高3生へ

(1) 高校2年生の皆さんは、あと10カ月でセンター試験です。1日1日を大切に、大学受験のための勉強をして下さい。計画的に勉強をしていないと、あっという間に時間が過ぎてしまいます。特に3月が大事です。最高学年の3年生がいなくなり、試験がまったくない時期なので、ぼーっとしがちです。

(2) 今年を受験生で改めて感じたことですが、1教科でも苦手教科があると、センター試験は失敗します。英数国はもちろんですが、理科・社会もしっかりと計画的にやりましょう。

## 各教科の勉強

### 【英語】

(1) まずはセンターの高得点を目指す人は、「速読必修編」を最低3回以上やりきることを。

(2) そこからさらに二次での高得点を目指す人は、「長文問題精講」を2回以上繰り返し行うことが絶対条件です。

(3) 「速読」と「Vintage (Engage)」または「Next Stage」といった文法問題集のマスターが土台となりますが、文法に不安がある人は、まず3月中に「チャート」または「フォレスト」の問題をノートに解いて基礎を固めましょう。自学に不安な人や2月のマーク模試で筆記の得点が100点以下の人は、「長文読解のための基礎英文法」コースを選択し、2～3カ月で文法を仕上げることからしましょう。長文読解には英文法が必要です。

(4) 学年末試験のテスト勉強に向けたやる気・時間をそのまま継続させて、これからは受験に向けた学習習慣をつけましょう。

### 【数学】

(1) 基本的に「二次対策数学」と「センター数学」に分かれます。

(2) 高校生活はあまりに短く、学校の授業の進度も速いです。そのため、十分な理解と演習が出来ないまま先に進んでいる人が多いと思います。学力を入試レベルまで引き上げるには、「授業のノートの重要なポイントは何か」ということを見極めよう・吸収しようとして努力しながら勉強して下さい。

(3) さらにぜったいに必要なのは、問題演習を繰り返して行うことです。多くの人は、自分のやる演習が不足しています。

(4) 数学の解答では、日本語の説明を書いて下さい。理由説明の文章を書くと、その後の計算のときと、同じ内容を2回勉強していることになります。

### 【国語】

(1) 問題と解説をファイリングして自分なりの参考書を作って下さい。センター試験の前に役立つはずですが。

(2) 1年・2年と古文・漢文の基礎をやって来なかった人は、4月から3カ月コースで「再出発の古文・漢文」と

いう講座がありますので、ぜひ受講して下さい。0からの出発です。

### 【理科】

(1) 理系は、7月中に通りの学習を終え、9月中には「セミナー」などの問題集を2周以上終える必要があります。

(2) 化学・物理については、「2次対策クラス」と「センター対策クラス」を開講。さらに今年度から新しく「再出発の化学」を開講しますので、理論化学に不安がある人は、是非受講してください。

(3) 生物については、当面は「センター対策クラス」のみの開講となります。(「2次対策クラス」は、希望により、開講の可能性あり。)

## 高2生へ

2年生になると、センター試験の過去問など、本格的に全国大会の問題に取り組みます。

つまり、今年度から、いよいよ本格的な受験勉強の始まりです。

模試もぐっと難しくなり、全国大会であることが身をもって分かると思います。本気になって志望大学を目指して下さい。

戦いの相手は、学校の同級生ではなく、全国の高校2年生です。

## 各教科の勉強

### 【英語】

(1) 速読英単語を、まだ「入門編」をやっている人は早く終えて、必修編に取り掛かってください。

(2) 「速読必修編」ではまず1周じっくり取り組み、受験に向けた基盤を作ってしまいましょう。

(3) 英文法の基礎事項をしっかり復習し、センターレベルの文法・長文問題に向かうために、

3月中に「Vision Quest の確認問題集」または「LEARNERS」の問題をノートに解いて基礎を固めましょう。

(4) 最終的に、入試の得点は、コツコツと積み重ねられるかどうかで決まります。

### 【数学】

(1) とにかく、理系は、「ニューアクション」のすべての問題(よほどの難問は除く)を解けるようになって下さい。文系は、教科書の章末問題を解けるようになって下さい。

(2) 卒業した先輩たちの中には、「ニューアクションは入試の基本として出来なきゃまずい。そのうえで、入試勉強やらないと解けるわけがない。」と言っている人がこれまで何人もいました。

(3) 特に、2年生で怠けると3年生(3年生は10カ月しかない)になってから勉強しても、遅れを取り戻すのはおそらく不可能です。「あと1年で受験できる大学が決まる」という気持ちで妥協せずに勉強して下さい。

### 【国語】

(1) 国語を受講していた人は、センター過去問に入ります。国語の入試では一番難しい問題になりますので、20年分の過去問をコツコツやっていきましょう。

(2) 国語の古文・漢文の基礎ができていない人は、問題集をたくさんやっても本当の力がつきません。基礎をつけてから、やって下さい。4月から3カ月コースで「再出発の古文・漢文」という講座がありますので、ぜひ受講して下さい。

### 【理科】

(1) 1年で学んだことを土台に本格的な学習が始まります。順調にしている人は、これまで通りの学習に加え、数研「重要問題集」などの受験用問題集を始めましょう。

(2) 土台に不安がある人は、早急の対策が必要です。春期講習での「化学入門」、引き続き4月開講の「再出発

の化学」を受講し、2年生のうちに受験のための基礎体力を作っておきましょう。